

# ボランティアセンターだより

鴻巣市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 597-2100

第253号

社協HPは  
こちら

鴻巣市箕田4211-1 鴻巣市総合福祉センター内

FAX 597-2102

令和 5年 3月発行

いつでも・どこでも・誰でも

そして楽しく



## 音訳ボランティア活動を知ってもらいたい！ 新しい仲間をふやして 視覚障がいの方へ声のたよりを届ける

### ～ボランティアグループ こうのとりの体験会の様子～

ボランティアグループこうのとりは、視覚障がいの方へ声で情報を届けるボランティア活動をおこなっています。社会がコロナウイルスに翻弄されている最中でも、鴻巣市の広報「かがやき」、社協の広報「社協だより」など休むことなく音訳活動を続けてこられました。その原動力となっているのは、視覚障がいの方々へ情報を届けたいという想い。

今年は、自分たちの活動を知ってもらい、一緒に活動する仲間を増やしていきたいとの思いから体験会を企画。開催された体験会では、ボランティアグループこうのとりの活動やデージー編集作業についての説明や、文章を読み録音する音訳体験をおこないました。日頃は、班会議を開催し、情報交換や文章の読み方を確認するなど、会員同士で音訳活動を高め合っています。



■□■読み方クイズ■□■ 正しい読み方知ってますか？

問題① 別日 → ( ? ) ヒント… ベつび？ ベつじつ？  
問題② 続柄 → ( ? ) ヒント… ぞくがら？ つづきがら？

■□■言葉の区切りクイズ■□■ この言葉、どこで区切って読みますか？

問題③ 無料簡易耐震診断



間違っても、途中から録音し直せるから大丈夫

仲間が増えたらいいな～一緒に活動していきませんか☆

デージー班は、録音した音訳の編集担当。句読点では、決められた時間を空けて編集します。パソコンや編集作業が好きな方大歓迎！

声のボランティア活動に興味のある方、パソコン操作や編集作業が好きな方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。

## 3年振りにボランティアグループの代表者が一堂に会す！ ～ ボランティアグループ代表者会議の開催 ～

ボランティアセンターには、約100団体のボランティアグループが登録しています。今年、感染予防対策を講じ3年振りに集合形式で開催することができました。ボランティアセンターからは、「with コロナ」社会の中で変化してきた地域活動(主に高齢者施設訪問の活動)やボランティアグループの様子に触れ、今年度の状況を報告しました。また、団体と連携したことや会員を増やす取り組みをされた地域活動実践団体として「ボランティアグループ こうのとりの」と、今年度新たに活動をスタートさせた実践者として「ポッチャ(普及)サポーター」の方に活動発表をしていただきました。今年度は、『再始動』という言葉が合うように、他にもご紹介できなかったグループの活動実践もありました。改めて互いの活動を知り、共有することで、グループが抱える問題解決や新たなチャレンジといった、これからの活動へと進んでいただけるといいなと感じます。



## 令和5年度 ボランティア活動保険の受付が始まりました

ボランティア活動保険は国内のボランティア活動中に起こる様々な事故、ケガの備えとして、無償で活動するボランティアの方々のための保険です。活動中と自宅から活動先の往復途上も補償されます。

**※ただし寄り道した際のケガ等の補償はできません。**

安心してボランティア活動をおこなっていただくためにお役立てください。

【プランの紹介】

プラン名	基本プラン	天災・地震プラン	特定感染症重点プラン
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外		補償開始日から補償
年間保険料	350円	500円	550円
地震・噴火・津波による死傷	補償なし	補償あり	補償あり

補償期間)令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

4月1日以降にお申込み頂いた場合は手続き完了後、翌日から補償開始

年度途中の加入でも年間保険料が必要です。

注)どちらかのプラン1人1口の加入になります。複数の団体に加入されている方は1つの団体でご加入ください。

注)団体で加入される際は必ず社協にグリーンカードの提出をお願いいたします。

※ボランティア保険の加入に必要になります



掲載内容やボランティアに関するご相談は、  
ボランティアセンターまでお気軽にご連絡ください。  
鴻巣市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

TEL 048-597-2100 FAX 048-597-2102

<http://kouosu-syakyo.or.jp>